

姿勢(骨格構造)の歪み

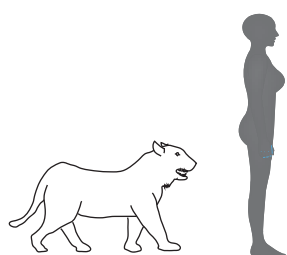
正しい姿勢(骨格構造)とは、頭・骨盤・足裏が垂線上に揃い、重力と調和した状態を指します。

腰痛・肩こり・偏頭痛・首の痛み・むち打ち症・手足のしびれ・顔のたるみなどの多くは、姿勢(骨格構造)の歪みに由来しています。

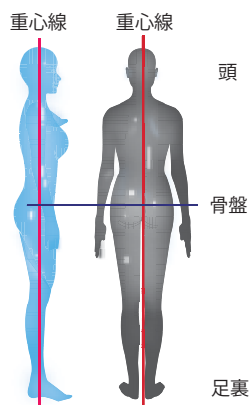
治療の手段としては、手術、物理療法(カイロ・整体など)、牽引術、薬剤などが一般的です。

当財団は、幼児が、正しい姿勢(骨格構造)をどのようにして学習したのか?・・・という **姿勢学習のプロセス** を研究しています。

この**姿勢学習のプロセス**を、歪んだ姿勢(骨格構造)に適用させることで、痛みや病気を改善させる一つの術を記します。



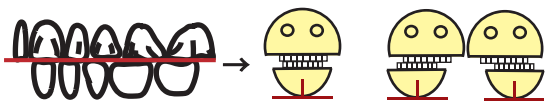
- 動物は四足なので、テーブルや椅子に似た骨格構造をしています。重力に対して安定しているため、完成した骨格構造で産まれてきます。(産まれてから、短時間で立ち上がることができます。)
- ヒトの垂直な骨格構造は重力に対して不安定なので、完成するまでに長い年月を必要とします。



- 産まれたときはC字状で、首と腰にカーブができると、お座りやハイハイができるようになります。この時期に大まかな脊柱カーブができ、四肢の筋力が鍛えられるとつかまり立ちができるようになります。
- 乳歯が生え揃うと、ギシギシと歯ぎしりをさせ、急速に歩行が上手になっていきます。幼児が頻繁に歯ぎしりすることについて知っている方は多いはずですが、何故でしょうか?
- 乳歯の歯ぎしりと、正しい姿勢(骨格構造)の学習との関係を記します。

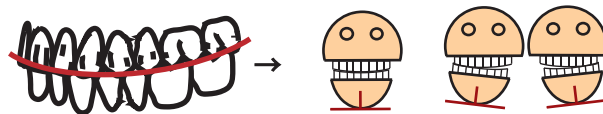
①乳歯列は咬み合う面が平らなのに対し、永久歯列はカーブしている。

「乳歯列」



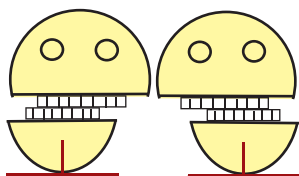
咬み合う面が平なので、アゴが水平方向にギシギシ動かします。

「永久歯列」

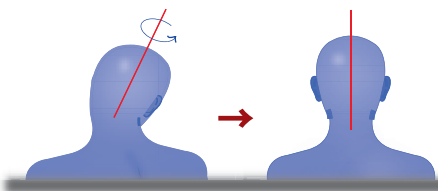


咬み合う面がカーブしているため、アゴを水平方向に動かさず。

②乳歯列をギシギシさせると、頭が正しい位置に固定されます。



ギシギシ



頭が正しい位置に固定される理由

AとBの筋肉が同時に引っ張り合うことで私たちの頭の位置が保持されます。

Aの口を閉じる筋肉が緊張すると、物を咬む力と頭を下向きにする力が同時に発生します。

食事をするとき、頭が動かない理由は、Bの頭を引っ張り上げる筋肉が同時に緊張するからです。（大人も子供もこの構造です。）

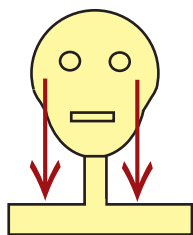
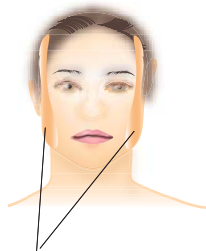
乳歯列（平面）を歯ぎしりするとアゴが水平方向に動き、左右のAの筋肉が同じ力で緊張します。

頭が動かないように左右のBの筋肉が同じ力で緊張するので、頭は右にも左にも傾かない、正しい位置に固定されるわけです。

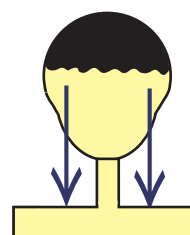
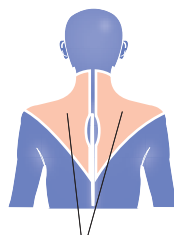
A 口を閉じる筋肉



B 頭をひっぱり上げる筋肉



Aの筋肉（口を閉じる筋肉）は頭を前に引っ張り上げます。



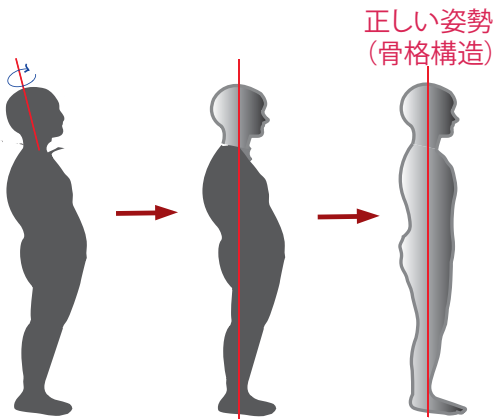
Bの筋肉（首の後ろの筋肉）は頭を後ろに引っ張り上げます。



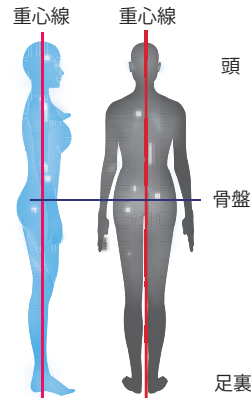
③頭を正しい位置に固定したまま歩くと、正しい姿勢(骨格構造)を学習できる。

頭は体のでっぺんにあります。

頭の位置を固定して歩くと、**重力とバランスをとるために**、体の中心線上に骨盤と足裏が移動し、正しい姿勢(骨格構造)が完成します。



正しい姿勢(骨格構造)とは、頭・骨盤・足裏を重心線が貫いた状態です。



人が姿勢(骨格構造)を学習するための要件として、三半規管による平衡感覚・視覚・皮膚感覚などが知られています。

乳歯列が姿勢の学習に関与していることについては、どの大学でも研究されていませんし論文もありません。

永久歯列を乳歯列に変換できるマウスピースを作ることにより、乳歯列が姿勢の学習に関与していることが証明できます。

永久歯列を乳歯列に変換できるマウスピースを装着し、歯ぎしりしながら5分程度歩行すると、歪んだ姿勢(骨格構造)に大きな改善が認められました。

理論の詳細は、(幻冬舎新書 歯医者さんのウソ 著者 近藤信也)に記載

展 望

手術、物理療法(カイロ・整体など)、牽引術、薬剤の治療により、多くの人々が恩恵を受けていることは非常に重要です。

歪んでしまった姿勢(骨格構造)を乳歯列による姿勢学習プログラムを応用することで、正しい状態に戻し、腰痛・肩こり・偏頭痛・首の痛み・むち打ち症・手足のしびれ等に対処できないかと考えました。

腰痛・むち打ち症には、自覚的改善を多く認めました。

顔のたるみ・左右の不均衡に対しては、他覚的改善を多く認めました。

(僧帽筋と表情筋は筋膜でつながっているので、表情筋の左右不均衡の是正とリフトアップ効果。)

姿勢の悪い人や特に軽度の側弯症(子供)にも、多の他覚的改善を認めました。

不正な咬合様式に、歯科学的改善を多く認めました。(歯列改善ではありません)

乳歯列による姿勢学習プログラムの応用理論が既存の治療に加わり、役立つことを願っています。

開発したマウスピースは、義歯の方は使用できません。

Dr.Mouth

永久歯列を乳歯列様に変換するマウスピース。

乳歯列とどのような効果を得るため、反発性弾力・スプーン状の底面・歯型が取れる設計です。5分程度で、簡単に作ることができます。

ドクターマウス

構造

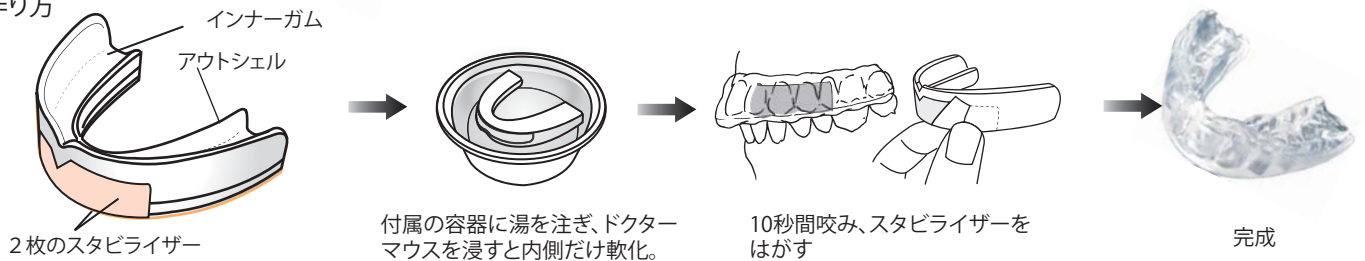


噛むと反発性弾力があります……左右の口を閉じる筋肉が同じ力で緊張させます。

スプーン状の底面になります……アゴを水平方向に動かせます。

内側だけガム状になり歯型がつきます。

作り方



ドクターマウスを装着して歯ぎしりすると、頭が正しい位置に固定されます。

そのまま歩くと、正しい頭の位置に対して、垂線上に骨盤と足裏がそろうので正しい姿勢(骨格構造)になります。

